

一般財団法人前田一步園財団「自然環境保全活動助成事業」

「釧路の森を歩く」体験事業 概要

くしろ森と緑の会

当会は、釧路管内の緑化運動を推進することにより、森林資源の造成、国土保全及び生活環境の緑化を図り、もって郷土の発展に寄与することを目的として、昭和50年に設立された団体です。規約等改正に伴い、平成18年に現在の名称になっております。これまで、北海道森と緑の会、釧路管内の市町村、関係機関、団体と連携・協力して、緑化運動の推進、緑の募金運動、愛林思想の啓発、環境緑化事業の推進等を行ってきました。

釧路管内は、植樹活動が各市町村、企業、団体等、地域が一体となっており、森づくりに対する理解を得る場となっております。一方、森とふれあう機械が少ない都市部の住民に森づくりに対する理解を得る取り組みを実施する必要があると考え、最近、森林ウォーキングなど森林を活用した健康づくりへの関心や期待が高まっていることに着目しました。さらに、「森を歩くと気持ちがいい」という主観的で数値に表せないものが、最近では、「ストレスチェック」といって、機械で客観的に数値として知る手法があり、これを活かせば、一般の方々に注目され、そして森づくりに対する理解を得る場を提供できそうだと考えました。

しかし、ただ森を歩くだけでなく、一般の方々にわかりやすい森林散策についての講演やストレスチェックを実施すると、通常連携している林務課だけでは行えないため、新たに様々な機関との連携や経費の負担が必要となるため、一般財団法人前田一步園財団さんの「自然環境保全活動助成事業」に申請し交付を受け始めて実施することが実現しました。大変感謝いたします。

事業内容は、管内の森林所有者と連携した森を利用して健康づくりの取り組みを推進し、地域の森づくり、森とふれあう、森を感じるための「森を歩く」体験活動を進めるために森林療法、森林ウォーキング活動の取組みに精通した医療関係者である旭川医科大学の住友先生（サポートで二名の医大生の方）を講師として招き、一般の方々にわかりやすい森林散策に関する講演やストレスチェックを実施していただきました。また、散策については前田一步園財団の「光の森」を2名の「一步園森の案内人」のガイドで実施しました。後日、アンケート調査を当日の記念写真に同封して行いました。結果は、ほとんどの方が「満足」との評価受け、それ以外の方も、「どちらかといえば満足」との評価を受けました。

普段森林になじみのない人に対する森づくりに対する理解を深めるためには、イベント参加で終わるのではなく、参加後に、「森林散策」といった参加者が自ら行えるようなことは、こちらにとっては森づくりへの理解を深めてもらい、参加者にとっては自身が健康になれる一助になり、ストレスチェックの手法を取り入れることは非常に有功だと思われます。

この事業の実施にあたり、様々な方々からの助成や支援協力を深く感謝するとともに、今後は、本事業の結果から、国、道、市町村においても森づくりや木の良さの理解を深める一つの手法として、医療関係者等と連携してストレスチェックの手法を取り入れた森林散策を実施して頂けたら僥倖です。

